

令和8年度第1回木更津市青少年問題協議会 議事録

1 日 時 令和8年7月8日（水）午後2時00分～4時00分

2 会 場 木更津市役所駅前庁舎 防災室・会議室

3 出席者 渡辺芳邦会長

委員：永原 利浩委員、豊田 雅之委員、川名 達也委員、白木 克也委員、
堀口信委員、嶋野 孝治委員、永井 秀一委員、西川 佳代子委員、
石渡 亮輝委員、友恵 眞理子委員、小籠 治弘委員、齊藤 富士男委員、
水島 享子委員、鈴木 清委員、高安 清美委員（20名中15名）

木更津市教育委員会：廣部教育長、安田教育部長、水越教育部次長

上田学校教育課長、難波まなび支援センター所長

事務局（生涯学習課）：山下課長、石渡係長、堀田係長、石井事務員

4 議 事

(1) 役員選出（副会長選出）

副会長：永原 利浩委員、水島 享子委員

(2) 講話：「青少年を取り巻く犯罪」

講師：木更津警察署生活安全課 藤平係長

(3) 意見交換、情報交換

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 なし

7 資 料

(1) 令和8年度第1回木更津市青少年問題協議会会議次第

(2) 令和8年度第1回木更津市青少年問題協議会資料

①青少年問題協議会委員名簿

②青少年の被害・非行防止全国強調月間 啓蒙チラシ

③青少年問題協議会の運営に関するアンケート

8 会議の概要

（事務局）

会議に先立ちまして、委嘱状交付式を執り行います。

お名前をお呼びいたしますので、自席にてお受け取りください。なお、青少年問題協議会設置条例第4条第1項の規定により任期は2年となります。なお、欠席者におかれましては、後日事務局よりお渡しいたします。

【渡辺会長から委員へ手渡し（介添え：安田教育部長、読み上げ：山下生涯学習課長）】

以上をもちまして委嘱状交付式を終了いたします。

引き続きまして、令和8年度第1回木更津市青少年問題協議会を開催いたします。

本日の出席委員は15名です。設置条例第六条第2項の規定による半数以上の出席がございますので、会議は成立しております。なお本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例に

より公開されていますが、本日の傍聴人はありません。
本日事務局側で出席している職員の紹介をいたします。

【廣部教育長以下出席者の紹介】

本日マイクシステムを準備していたのですが、接続が不安定なので手持ちのマイクに切り換えて進行いたします。ご協力お願いいたします。

それでは初めに本協議会の会長であります、渡辺市長よりご挨拶申し上げます。

(渡辺市長)

みなさんこんにちは。

本日はご多用の中、令和8年度の第1回目の協議会ということでご出席をいただきましてありがとうございます。

また日頃から青少年の健全育成に深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

ただいま、委嘱状交付させていただきましたが、今後2年間、本市の青少年の健全育成に関しまして、ご指導、またご協力を賜りますよう改めてお願いをさせていただきます。

さて本市では、本年3月に、木更津市こども計画を策定いたしました。

本計画は子どもや若者を取り巻く環境の変化に的確に対応し、地域における子ども関連施策を総合的かつ一体的に推進するためのものがございます。

今後は子どものライフステージに応じた切れ目のない支援を軸として、各種施策を着実に推進して参りたいと思います。

本日は木更津警察署地域安全課の藤平様より、青少年を取り巻く犯罪をテーマにご講話を賜る予定でございます。いわゆるトリックウエアであったり、闇バイトなど、青少年が加害者となる重大な事件も発生しており、決して看過できない状況でございます。

近年の青少年は外から見えにくい様々な課題を抱えている場合も多く、地域家庭学校そして行政が、これまで以上に連携し、温かく見守っていくことが重要であると認識しております。

委員の皆様におかれましては、本日の会議が青少年の健全育成に向けた有意義な機会となりますよう、また、今後一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そろそろ暑い夏も始まるようでございますので、ぜひご自愛の上ご活躍をいただければと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

本日は第1回目の会議でございますので、委員の皆様から自己紹介をお願いいたします。

なおこの自己紹介では、所属とお名前のみをお願いいたします。

【永原委員から順に所属と氏名を自己紹介】

(事務局)

ありがとうございました。

それでは会議に移ります。

なお、青少年問題協議会の概要や青少年に関する市の取り組みは、事前送付資料をもって、説明にかえさせていただきますことをご承知おきください。

また、議長につきましては、会長であります渡辺市長をお願いいたします。

渡辺会長よろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

それでは、よろしくお願いいたします。

早速議事に入りますが、本日は役員の選出がございます。

副会長の選出についてご協議をいただきます。

木更津市青少年問題協議会設置条例第三条第3項の規定により、委員の互選により副会長2名置くということになっております。

選出については、いかがいたしましょうか。

(川名委員)

議長一任でお願いします。

(渡辺会長)

議長一任との声が上がりましたが、事務局で何か案はございますか。

(事務局)

では事務局からは、木更津市議会議員であり、市議会教育民生常任委員会委員長であります永原委員と、日頃より青少年問題に深く携わり、活動いただいております木更津市子ども会育成連絡協議会の水島委員を推薦したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(渡辺会長)

それでは、事務局より説明がございましたが、事務局案に賛同いただける方は拍手をもってご賛同いただければと思います。

拍手多数

(渡辺会長)

どうもありがとうございます。

本会議の副会長は、永原委員、そして水島委員にお願いすることとさせていただきます。

それでは、永原副会長、水島副会長の順に先ほどより少し長くご挨拶をお願いいたします。

(永原委員)

ただいまご推挙いただきました永原でございます。会長を支えて円滑な会議に努めたいと思います。どうもありがとうございます。

(水島委員)

改めまして、木更津市子ども会育成連絡協議会の水島と申します。

ご推薦いただき、ありがとうございます。木更津市の子どもたちのために尽力していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

どうもありがとうございました。

それでは議事の2に移りたいと思いますが、本日は木更津警察署地域安全課長の岩井委員にご講話をお願いしておりましたが、岩井委員がご体調不良のため欠席となりましたので、代わりまして藤平係長にお越しをいただいております。

これから「青少年を取り巻く犯罪」をテーマにご講演をいただき、その後、本テーマに沿った意見交換並びに各団体の活動報告を行いたいと思います。

それでは藤平様、よろしくお願いいたします。

(藤平係長)

ご紹介いただきました木更津警察署生活安全課で少年係長をしております藤平と申します。岩井が体調不良のため、急遽、代理を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

まず数字的なところからちょっとお話させていただこうと思います。

昨年中、千葉県内で事件を起こして捕まった少年は、1,019人、千人を超えております。一昨年よりも100人以上プラスし、令和5年以降ずっと増加傾向にあります。中でも高校生の年代が概ね50%近くを占めており、その年代が一番非行に走ってしまうところがあります。

罪種別で言いますと、55%が窃盗、主に万引きや自転車の盗難、そういったものが多い傾向にあります。

ただ、木更津警察署については、木更津市と袖ヶ浦市を管轄させていただいておりますが、そちらで言うと正直窃盗よりも暴行、傷害、恐喝、それも多人数でという事件が昨年中は多くあり

ました。また、成人と共犯した事件も多くありましたので、千葉県全体とはちょっと違った状況にあるのかなと思っています。

また、オレオレ詐欺関係については、昨年中に検挙された少年は29人、一昨年と比較してはマイナス14人で、減少はしていますが、いまだに高水準となっていると思います。いわゆる闇バイトに近いものもあると思います。受け子と呼ばれ、お金をもらいに行く訳ですが、明らかにスーツを着慣れていなく、どう考えても成人じゃないだろうという人が捕まっていますが、彼らは捕まるための人間として扱われてしまうというのが少年の傾向となっております。

木更津警察署でも受け子の少年を逮捕したこともありますし、なかなかゆゆしき事態であろうと思っています。

またこの電話で詐欺とあわせて、最近の少年に多いのが薬物、特に今は大麻での事件が増えています。乾燥大麻を自分で使うために持っているということで捕まる少年が、年々多くなっております。

大麻は覚せい剤等々よりも安価で仕入れることができますので、二十歳くらいの若者や高校生が売ったりして、いわゆる暴力団の資金源となっているところも問題ですけれども、やはり薬物にはまってしまう少年がいるというのはとても残念な状況であると思っています。

さらに数字上の話で言いますと令和7年中の木更津警察署における刑法犯の検挙人数のうち少年については14人、今年の5月末で20人となっております。これはあくまで数値上の話ですので実際は、発生や捜査の過程においては、この数字イコール発生状況というわけではありません。

今までは青少年が犯人になるところをメインでお話しさせていただきましたが、その反面、青少年が被害者になる事例、特にここ数年ずっとあるのですけれど、インターネットや各種SNSによって、大人と繋がることが容易になりました。同級生同士も含めて、いわゆる児童ポルノ、わいせつ画像を知り合った友人や交際関係者へ画像を送る、裸の画像を送ってと言われて送ってしまうことが多く起こっていると感じております。件数としてはそれほど多くないとしても、1人捕まえてみると、2人3人、4人5人、10人以上の青少年から画像を送らせているような被疑者もいました。以前、管内の小学生女子児童が、InstagramからLINEに移行して繋がった相手に自分は高校生だということを言われ、裸の画像を送るように言われて送っていました。実際、その犯人を調べていくと、高校生どころか、30歳近い大人でした。

インターネット上の問題というのは、学校内も含めて、LINEグループでのいじめなどもそうですね、表面化しづらいのではないかと思います。

親でも実際に子どものスマホを確認することは難しいところがあると思うのです。しかし、最低限言葉の暴力や、異性に対して自分の顔も含めて、画像を送るのはよくないという話は日ごろからしてほしいと思います。

最近ですと、生成AIの普及により、服を着た状態の画像を元に裸の画像を作成するなど、本人の裸の画像でなくても本人と思われるような、昔のアイコンとはまた異なる、裸の画像とおぼしきものが流出されることもあります。一旦流出されてしまえば、何千何百という人間が、ダウンロードして再アップロードを繰り返していくので、もう正直画像の回収はできないというところを青少年のみなさんに、伝えていただければありがたいと思っています。これは女性に限ったものではありません。男子児童であっても陰部の写真を送るように言われたりしてそれをもとに脅迫されるような事例もあつたりしますので、裸の画像イコール被害者が女性というわけではないことはお耳に入れておいてほしいと思います。

先ほどちょっとお話しした闇バイトの関係ですけれども、木更津警察署では現時点で逮捕した者はおりません。と言いますのも、闇バイトによる事件を警察では認知していないので発生していないというところでもあります。しかし、今現在もしかしたら悩んでいる青少年がいるかもしれません。

ここで1つ、闇バイトに関する動画を見ていただきたいと思います。

この動画は千葉県立船橋高校の演劇部の生徒さんにご協力していただき、闇バイト等に手を染めてしまった青少年を描いています。

【動画視聴】

今動画を見ていただきましたけれど、これは当然、青少年に限った話ではございません。

携帯電話、詐欺の関係もそうですけれども大人、20代はもとより、中には50代60代でお金に困った人間がやったりすることもあります。当然やってしまったことは詐欺行為ということで犯罪になります。携帯電話を契約したからには月々の料金の支払いが発生しますが、請求が届き困っていますがどうしたらいいですか、との相談が実際警察にあります。それは携帯会社に連絡をして止める必要があるが、そもそもそれって、他人に渡すために契約したのだからあなたは被疑者ですよ、犯人ですよ、あなたは今被害者のつもりで連絡してきているかもしれませんが、あなたが犯人ですということを伝えなければなりません。

もちろん守れるところは守りますけど、やってしまった部分については反省を促さなければなりません。

昨年中でいわゆるトクリュウによる犯罪と見られるものは、日本全国で約1万2,000以上検挙しており、約1,300人が少年となります。

先ほどの動画でもありましたが、いわゆる実行犯、強盗だとか、そういった実行犯以外にも、犯行のターゲットを探すなども含めてすべて犯罪です。

先ほどの動画では、高校生に自動車盗で盗難する候補の車を探させる、携帯電話を契約させるといったものがありましたが、この他には電話で詐欺の受け子やかけ子、そういったものをリクルートするリクルーターについても同じように犯罪となります。

闇バイト、こういったものは必ず捕まります。現在はほぼすべてのコンビニやデパート、スーパーに防犯カメラがあります。万引きをしても顔はばっちり写っているので絶対捕まります。見張り役バイトを紹介しただけでも同罪ですし、少年だから大丈夫ということはありません。

数年前の話ですけれども、東京都狛江市で高齢女性に暴力をふるって殺害し、高級時計を奪うなどした犯行犯は当時19歳でした。19歳は一応少年法の範囲ではありましたが、最終的に刑事罰相当ということで懲役23年の実刑判決を受けております。

今後とも、皆様のご協力をいただいて、まずは木更津市内の少年が犯罪に加担しないような明るい木更津市にしていきたいと思っておりますので今後ともご協力よろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

(渡辺会長)

藤平様ありがとうございました。

それではここで意見交換に移らせていただきたいと思います。

ただいまのお話を受けて、ご質問ご意見、また、それぞれの活動に対して、どう活かしていくかなどのご意見をいただければと思います。

感じたことを率直にお話いただければと思います。

はい、では永原委員。

(永原委員)

青少年を取り巻く犯罪ということで、お話ありがとうございました。

1つお伺いしたいのは、いわゆるトクリュウみたいなところに関わってしまい、抜きたいのだけど、どうしたらいいかわからないというときに、先ほどの動画では警察や親に相談をするのだよというお話がありましたが、例えば警察署に、どうやらトクリュウに加担してしまったようなので助けてくださいって相談した場合、その子の身の安全っていうのはどこまで守ることができるのか、すでに身分証明書を相手に渡しているの、住所も知っているぞと犯罪グループから脅されることもあるかと思います。警察に相談した時に、その子たちの身の安全は確実に守られているのかその辺をお伺いしたいです。

(藤平係長)

ご質問ありがとうございます。

先ほどの動画の中で身分証のコピーを渡す部分があったかと思いますが、本人の情報だけではなく、親の名前や親の勤務先も聞き出すような手口もあります。だから自分が逃げたときに、親の勤務先にいきなり犯罪組織の人間が来るという可能性も正直ゼロではないところがあるので、そういったところから逃げられずに犯罪に加担してしまうところがあると思います。

警察としましては当然ケースバイケースとなりますが、まずは避難をしていただくように協力を依頼します。

大前提としてももしかしたらちょっとだけ犯罪に加担してしまったという場合は、警察に電話をしてください。その中で、こういう闇バイトに加担してしまい、その相手から行動を起こさなければお前のところへ行くぞと脅されているというような情報を伝えてください。

当然その犯人たちを捕まえるための捜査をするのですが、先ほどの詐欺で手に入れた携帯電話はいわゆる飛ばしと呼ばれていて、犯人たちにたどり着かないことが多いです。名前も下っ端は本名を名乗っているかもしれませんが、上の人間になればなるほどルパンなど本名じゃないところがあります。

ただ、現在は最終的に組織の上役を逮捕するため警察が一丸となっています。木更津警察署だけではなく、千葉県警だけではなく、日本全国の警察が一丸となって、一番悪い人間たちを捕まえるよう努力をしています。

被害に遭わないために避難をさせ、例えば北海道や沖縄に避難するということであれば、北海道警や沖縄県警にこのような被害者が避難しますので警戒お願いしますと警察間で連携を取っていますとの回答でよろしいでしょうか。

(永原委員)

ありがとうございました。

(渡辺会長)

それでは他にご意見ありますか。

豊田委員どうぞ。

(豊田委員)

ためになるお話ありがとうございました。

ちょっと変なことを聞きます。よくニュースでは民家にバールを持って侵入し、人に危害を与えた結局何も取らずに逃げたケースなどは聞きますが、あまり大きなお金を取られたとのニュースは聞きません。実際上層部の人たちには収益があるのでしょうか。

(渡辺会長)

藤平様、お答えよろしいでしょうか。

(藤平係長)

私も回答が難しいところではあるのですが、実際のニュースでは被害額等をあまり公表していません。実際に盗まれた貴金属の種類やその製造番号等は警察で把握しているのですが、詳細な情報を伝えていない部分があります。あとは、通報していただいていない事件もあるかと思います。電話で詐欺に関しては、10年以上ずっと注意喚起の広報をしているつもりなのですが、いまだに引っかかってしまうケースがあります。現在は高齢者だけではなく、株投資など若い方も引っかかってしまうこともあります。個人的には、先ほど話しました薬物もそうですが、そういったいろいろな犯罪で金を集めていて、最終的には暴力団と繋がっているのではないかと思います。

(渡辺会長)

永原委員どうぞ。

(永原委員)

例えば、末端の若者が関わっても自分のところにはそんなにお金が入ってこないぞというような、闇バイトの募集・参加はやめようというPRを行うなどしてはどうなのでしょうか。

(渡辺会長)

藤平様いかがでしょうか。

(藤平係長)

末端の若者への報酬は、1日1万というか1現場1万といったところが正直なところだと思います。中学生や高校生からすれば、1日1万なんてすごく大金だと思うのです。ですが、犯罪に加担しないために、そういったお話をしていただくのはいいと思います。

(渡辺会長)

他にご意見ございますか。

永井委員どうぞ。

(永井委員)

私は保護司として、現在4人を受け持っていますが、そのうち2人が少年で、1人はトクリュウで事件を起こしました。その少年は家庭環境の中で自分の居場所がないということで、SNSを通じて関西の方へ家出をしました。そこでトクリュウに関わり、1回の売り子で大体3万円もらったと言っていました。過去に取り扱った事例では30万もっている人もおり、思ったより高額な金額が動いている印象です。

(渡辺会長)

永原委員から関連事項で質問があるようです。

(永原委員)

電話de詐欺に関してですが、最近は通話内容を録音するなど迷惑電話防止機能のついた電話がありますよね。我が家も数年前からこの機能を利用していますが、昼間にかかってきていた迷惑電話がほとんどなくなりました。迷惑電話防止機能を導入することの効果などは警察署でおすすめしているのでしょうか。地域の地区社協では社会福祉協議会さんからの補助金を活用し、高齢者にこの機能のついた電話機の導入をサポートしていますが、効果があるのであればもっと積極的にすすめていこうかと思っています。

(渡辺会長)

効果のほどはいかがですか。

(藤平係長)

生活安全課の防犯係で対応していますが、一般的に言われていることとして、最近は自動音声でかかってくる電話が多く、電話をかける側からすると自分の声が残ることを嫌がります。音声を聞いて、すぐに誰だと判別することは現在の技術では難しいところですが、声を残すと今後犯人を捕まえたときにその音声データから余罪を追うこともできるかと思います。そういった点からも留守番電話設定や録音機能の設定は効果があるものだと思っています。

昨今ですと国際電話からの迷惑電話もかなり多いかと思いますが、木更津警察署で国際電話をすべてブロックするという申請の補助をしています。海外からの着信に一切関係ないというご家庭であれば、そのような対策も可能です。また、携帯電話にも国際電話がかかってくることもあるかと思いますが、こちらも警察庁が作っているアプリでブロックすることができます。警察署や交番でチラシも配布していますので、ぜひご参考にしていただければと思います。

(渡辺会長)

参考になる情報をありがとうございます。

それでは他にご質問ありますか。

ないようですので、藤平様に改めて御礼を申し上げます。本日はお忙しい中ありがとうございました。

それではこの後、各団体の青少年育成等に対して情報交換ができればと思います。

水島委員、何かございますか。

(水島委員)

子ども会育成連絡協議会の水島と申します。

子ども会としての活動は4月に総会を行いまして、その後田植え体験や、かるたの講習などいくつかの活動はさせていただいております。1つちょっと残念なことがありまして、真里谷の少年自然の家キャンプ場が今使えないということで、毎年行っていたキャンプの講習が開けなくなってしまいました。しかし、50年も継続しているものなので、ここでやめるわけにはいかないということで、富来田地域交流センターをお借りしまして、段取りはしたのですけれども、予定していた前日に台風が来まして、富来田地域交流センターは避難所にはならなかったのですけれども、警報が発令された状態でやるのは不可能だろうという判断を下しました。

子ども会の会員については、以前からお伝えしていますが、すごく減少してしまっている中、キャンプ講習には30名ぐらいの申し込みがあったので、できなかったことがちょっと残念かなと思っております。

今後も継続していきたいなと思っていることが1つありまして、房総子どもかるたという千葉県のかるたがあるのですが、中身が全部千葉県にちなんだものになっています。こちらのかるた大会を毎年行っておりまして、子ども会に入っている方を対象に大会を開催しているのですが、会員が少なく対戦相手がいない状態です。ですから各小学校や各地域交流センターにお声をかけて、子どもたちを集めてかるたを広めていきたいというお話をさせていただいております。先日は西清川地域交流センターで、祇園に住んでいる子どもたちを集めてかるたの講習会というか体験会をしました。またこの金曜日には文京地区の子どもたちに声をかけて、かるたの体験をしてもらおうと思っております。

また、どこの団体も課題となっているかと思いますが、子ども会に関しましても担い手がおりません。運営していくのに、4人5人の体制での運営が本当につらいというか、もう正直きつところまでできておりますので、そういった活動を通して、若いお父さんやお母さんたちにも協力していただけるような、何かいい方法があればなあと模索しながら活動をしています。

ご意見やご提案がありましたら、非常にありがたいと思っております。

(渡辺会長)

ありがとうございます。

水島委員のお話に関して、どなたかご意見やご提案ありますか。

では永原委員お願いします。

(永原委員)

水島委員のお話を聞いて、役員のなり手がいないっていう、どこもかしこも同じ感じなのだろうと思う中で、僕の隣にいる学童保育所くじらクラブを運営されている豊田委員のところは、子どもの相手をしながらその親である若いお母さんやお父さんが一緒に活動に参加して、草刈りやバーベキューを行っていますよね。あれはなんでうまくいっているのですかね。それをお話いただけると少しヒントがもらえるかなと思います。活動が充実していて羨ましいなと外からいつも見えています。

(渡辺会長)

豊田委員、アドバイスありますか。

(豊田委員)

手前味噌になりますが、もうとにかく、我々はスタッフとして子どもたちをとてかわいがるので、子どもがかわいい期間ってこれだけしかないんで一緒にやりましょうということを、1年生で入ってくるときにお話をさせてもらっています。親も楽しめるのは今だけだよとお話をさせてもらって、まずお父さんやお母さんを集めて、ものすごいお金がかかるのですけど会費なしの飲み会をやらせてもらってそこから引込んでいきます。来てくれたお父さんに、じゃ飲んだのだから、次は草刈りをお願いねという感じです。お父さんたちも活動に来れば楽しいし集まれば楽しい、子どもも自分もそこで活躍して楽しいということで、相乗効果かなって思っております。

(渡辺会長)

水島委員どうですか。

(水島委員)

豊田委員ありがとうございます。

参考になればなと思ったのですが、すみません。市からいただいているお金が飲み食いに使ってはいけないということで聞いております。やっぱり懇親会の席というのは、すごく密になれる、仲良くなれる絶好の機会だと私も思っているのですが、それが無料でできたらどんなにいいだろうと思いました。

現状ですね、本当に子どもが小さいうちしか携われないっていうのは子ども会に限らず、PTAもそうだと思うのですが、今しかできない、今しか子どもと一緒にできないという思いは私も何年も前から持っているのですが、それがなかなか上手に伝えられず、私の力不足でもあるのかなあと思いつつ、また今後とも意見を参考にさせていただき、取り入れていきたいと思っています。ありがとうございます。

(渡辺会長)

ありがとうございます。

地域には必ずスポンサーになってくれる人がいると思うので、ぜひ声をかけて活動を広げていただけるとよいと思います。

他にいかがでしょうか。

何でも結構でございます。

それぞれの活動のPRも含めてお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

小籠委員いかがでしょうか。

(小籠委員)

昔は、小学校や中学校が終わるとみんなで集まっていろいろなことをやっていました。今は個人プレーが中心となってしまう、集まる場所がなくなってしまうと感じます。なので、子どもたちが集まる場所を作り、そこでいろいろな話ができるといいのではないかと思います。計画をするのですが、いざやろうと思うとなかなか子どもが集まりません。参加してくれるのはせいぜい15、6人です。子どもたちが地域の集まりの中で先輩や後輩との絆ができれば、ひとりで悩むことも減るのではないかと、子どもからのSOSを見つけることができるのではないかと思います。そのような場を作ることが非常に重要な課題だと考え、模索していますが計画しても人が集まりません。

何年か前に、廃線の話がでたときに、久留里線の切符を自分で買って亀山ダムの見学など、久留里線に乗って出かける計画を立てて募集を行ったのですが、そんなに集まりませんでした。

昔は、上総湊に電車で行き、そこで1日体験活動をして電車で帰ってくるというイベントを行うと30～40人の参加がありました。同じようなことを企画しても最近は集まらず、なぜ集まらないのかの答えがでません。

私も長年青少年の活動に関わっていますが、自分の地域ではコロナ前までは通学合宿をしていました。通学合宿は非常に地域のためになり、小学生の参加者が数年後に地域のユースボランティアとして活動に戻ってきてくれました。そうすることで、地域の中で次の世代の子どもたちへものごとを伝えていくのです。

最近は子どもが自分で物を考える思考力がかなり低下してしまっているのではないかと感じることがあります。コロナの影響で通学合宿がなくなりましたが、地域交流センターになった現在、地域のためにも通学合宿が復活すればと思います。

先ほども申し上げましたが、地域の住民会議事業で久留里線に乗って出かけようとの企画がありましたが、木更津へ戻ってくる電車の本数がなく断念しました。久留里線に乗車する目的のひとつに、一部が廃線になるということを子どもたちに知ってもらい、社会勉強をしてほしいとの思いからでした。しかし実際にはなかなかこのような事業には参加してくれません。青少年相談員や青少年補導員などの力を借りて、いろいろなことができればよいと考えています。

子どもたちのSOSを小さいうちに拾い上げることができれば、そこから軌道修正できるのではないかと思います。

みなさんのご意見をお聞きし、今後も活動していきたいと考えています。

(渡辺会長)

ありがとうございました。

水島委員お願いします。

(水島委員)

参考までになんですけれども、私が住んでいる清見台地区で、以前小学生と中学生を集めまして、廃線になるということで、久留里線の旅という企画をしました。小籠委員がおっしゃるように、久留里から木更津へ帰る便の本数が限られてしまって、亀山まで行くことができて帰りをどうするか課題がありました。そこで、行きは久留里線で久留里まで向かい、久留里城の見学と昼食を食べて、その後は久留里から亀山までまた久留里線で移動し、夕方亀山ダムに市のバスに来てもらいました。それで、市のバスで木更津駅まで帰ってきました。午後3時や4時くらいには帰ってくることができたので、参考までに市のバスが使用できることをお伝えしました。

(渡辺会長)

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

では、鈴木委員お願いします。

(鈴木委員)

社会福祉協議会の鈴木ですが、私は子ども会育成連絡協議会の会長も務めています。先ほど水島委員が子ども会の現状を話してくれましたが、木更津市内で約6,000人小学生がいる中で、子ども会育成連絡協議会に入っているのは4学区だけです。

本来私たちの考えだと、子ども会というのは地区の下部組織で、常にお祭りとかそういう地区行事を一緒にやっていたのだと思うのです。地元には子ども会があるけど、市の子ども会育成連絡協議会に登録すると面倒くさいなどの事情もあって加入のない状態なのです。なので、実際は子ども会がある地区はあると思うのです。数年前に町内会長や区長宛に子ども会に関するアンケートを実施しました。その中ではやはり子ども会は必要との意見が多くありました。ですが、次の一歩がなく、現在の状況となっています。私たちもできるだけ多くの子どもたちに、子ども会として一緒に少年時代を過ごしたいと思っていますが、どうしても保護者にとって役員を引き受けることがネックになってしまい、子ども会を抜けてしまうことが増えています。県も県内で子ども会対象人数が35万人いるうち、2万4千人しか子ども会へ加入していないのです。子ども会への加入が低いのは木更津市だけの問題ではないので、子ども会も加入している子での活動と限定するのではなく、来てくれれば子どもはみんなかわいいですから、子ども会をちょっと刷新して、何か新しい方法があればいいかと思います。

(渡辺会長)

ありがとうございます。

関連して何かございますでしょうか。

はい、永井委員どうぞ。

(永井委員)

保護司の永井です。

木更津市地域福祉計画の中で、再犯防止推進計画を策定していただきまして、誠にありがとうございます。また社会を明るくする運動では市長及び教育長にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

先ほども申し上げましたが、トクリュウや闇バイトなどに若者が簡単に加担してしまうことは、家庭環境の中に生きづらさがあるのかと思ってしまいます。

今までの経験から、その現状をどうやって把握し、再犯防止予防に向けて発信していけるのか、大きな課題になっております。改めてこれ、今後も再犯防止に向けて取り組んでいきたいと考えています。

(渡辺会長)

どうもありがとうございます。

他、いかがでしょうか。

それでは、ご質問やご意見も出尽くしたようでございますので、意見交換の場は終了とさせていただきます。

皆様の貴重なご意見本当にありがとうございました。

今後も皆様と情報共有を図りながら、青少年健全育成に取り組んでいければと思います。

今後とものご指導ご協力を改めてお願いをさせていただきます。

何かございましたら事務局までお話しただければと思います。

それでは、以上をもちまして第1回の協議会を閉会いたしますので、司会を事務局へお返しいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

貴重なご意見ありがとうございました。

以上をもちまして、この協議会の議事は終了となります。

何か連絡事項等ございますか。

山下生涯学習課長お願いします。

(山下生涯学習課長)

貴重なご意見ありがとうございました。

生涯学習課から4点ほどお知らせがございます。

1点目としましては、朝の子どもの居場所づくりに関してです。

家庭の事情等により学校の昇降口が開く時間よりも早く登校せざるを得ない、児童の安心安全な居場所づくりに取り組むということで、9月から請西小学校をモデル校としての実施を予定しております。

2点目としまして、小籠会長もいらっしゃいますが、青少年育成木更津市民会議の事業として取り組んでいます、防災行政無線を活用した夕方の子どもの見守り放送についてです。現在は中学生の声によって放送しておりますが、9月末で中学校12校分が終わりますので、そのあとは小学生の声で放送を予定することにしております。今まで以上にまた地域で子どもたちを見守っていただければと思います。

3点目は先ほど水島委員からもお話がありましたが、少年自然の家のキャンプ場についてです。令和7年7月に進入路に亀裂が確認されたため、現在は安全を考慮して進入路を通行禁止、キャンプ場の利用を休止していますが、測量調査、ボーリング調査、地質調査が終了して、道路の修復に向けた予備設計を行っています。復旧までご不便をおかけしますがご了承ください。

それから最後にお配りしておりますチラシに関してですが、今月は青少年の被害非行防止全国強調月間ということで、千葉県から、市内の公立小学校の5年生と公立中学校の1年生に、チラシを配布して欲しいという依頼がありました。先ほどの藤平様のお話にもありました闇バイト等にも注意喚起するということです。情報提供として配付いたしました。

(事務局)

他に連絡ございますか。

石渡委員どうぞ。

(石渡委員)

石渡でございます。

こども未来部から1点ご報告をさせていただきたいと思います。

こども未来部としまして、こどもたちの夏休み期間に子どもが安心して過ごせる場所として、地域交流センターの1室を開放します。

今年度は利用実態や要望等を確認し、その効果や課題を検証することを行う目的として、市内2か所の地域交流センターを使って実証実験を行います。

期間としては、7月22日から8月27日の夏休み期間中に、2か所のまちづくり協議会に委託させていただいて、小学生を対象として実施いたします。

1 か所が八幡台地域交流センターで、21 日間行います。もう 1 か所は、金田地域交流センターでこちらは 7 日間となっております。

金田地域交流センターでの実施日が少ない理由は、当初予定していた地域交流センターでの実施が難しくなったことに伴いまして、急遽金田へお願いしたため、夏休み全日では必要人員の確保が難しいとのことでちょっと少なくなってしまったものです。

市のホームページに、金田子どもサマースクールとして、チラシを載せておりますので、ご興味ありましたらご確認いただければと思います。

児童が楽しい時間を過ごせるように、今年度は地域の皆様のご協力により、ものづくりや経験など、いろんなイベントを用意いただいておりますので、その事業の効果や課題などを今回検証させていただきまして、今後の事業に進めて参りたいと思います。以上でございます。

(事務局)

石渡委員ありがとうございました。

他にございますか。

(小籠委員)

ちょっとよろしいでしょうか。

市長さんも教育長さんもいらっしゃるの、1 つお願いがあるのですが。

子どもの見守り放送を今度は小学生の声で放送をするのですが、ぜひともその学校名を加えてもらいたいと思うのです。中学校も何々中学校ですと言うと、地域の人が地域の学校名にかなり反応すると思うのでお願いしたのですが、学校名はだめだって話になったのです。これどうなのですかね。学校名を言えば、その学校の地域にしても、やはり見守りの影響力を与えるのではないかと思います、どうか検討してみてくださいないでしょうか。

(事務局)

廣部教育お願いします。

(廣部教育長)

小籠委員、ご意見ありがとうございます。

おっしゃる通り、学校名を出した方が地域の方に興味を持ってもらえるとのことで、教育委員会内でも随分検討したのですが、学校名が特定されると、〇〇学校の誰だろうということで個人の特定にもなりかねないので、慎重に検討させていただきます。この時代は非常に慎重にやらなければいけないと思いますので、検討させていただきたいと思います。

(事務局)

はい、永原委員どうぞ。

(永原委員)

どっちつかずの意見となってしまいますが、例えば学校名の後に個人名を言う場合は慎重にならざるを得ないと思いますが、例えば、今月の担当は〇〇小学校が担当していますぐらいは、何か入れてもよさそうな気がします。これはお願いです。

こちらは質問です。朝の子どもの居場所づくりの件ですが、9 月から開始をして、その利用実績などは今後集計されるのですよね。

(事務局)

山下生涯学習課長お願いします。

(山下生涯学習課)

朝の見守りにつきましては、今年度実証実験ということですので、保護者のご意見などを伺って、よりよいやり方を模索していければと考えております。

(事務局)

その他何かご意見ありますでしょうか。

では本日は誠にありがとうございました。

また機材トラブルが多発して、大変聞きにくいまたお見苦しいところがあり、申し訳ありませんでした。

なお、本日アンケートを配付しております。こちらのアンケート、紙でお書きいただいても結構ですし、右上に2次元コードを貼ってありますのでこちらから電子回答でも構いません。今後の開催案内の方法ですとか、青少年問題に関しての関心のあることをお書きいただければと思います。

よろしくお願いいたします。

あと事前に郵送をいたしました資料の中で、木更津市子ども計画のURLを記載しましたが、本日わかりやすいまとめ版というものを担当課からいただきましたので、ご興味ある方はお声掛けください。

次回の会議は2月頃を予定しており、詳細は改めてご案内いたしますのでぜひご出席のほどよろしくお願いいたします。

では以上をもちまして、終了といたします。

ありがとうございました。